

2025年4月1日から2026年3月31日まで

特定非営利活動法人あなたのくうかんおおい

1 事業実施の方針

【不登校の現状】令和5年度の文部科学省の調査によれば、大分県の不登校中学生は2,144人（前年度比227人増）、小学生は1,044人（同228人増）、大分市では、中学生1,079人（同235人増）、小学生586人（同187人増）と増加が顕著である。また、不登校児童生徒のうち、約3割は学校内外で何らかの支援を受けておらず、大分市内でも推計で約300人の中学生が自宅で過ごしていると考えられる。一方、県内にあるフリースクールは22か所あるが、登録されている児童生徒数は小学生63人、中学生61人の合計124人とどまっており、フリースクールの利用が十分に広がっているとはいえない状況である。

【2025年度の目標】

1. マイムの情報を必要とする人やマイムの内容や実際の様子を知らない人に分かりやすい情報が届くような広報活動をする。
2. 生徒が安心して学び、自分らしく過ごせるように、それぞれのニーズに合わせた支援と人員配置を行う。
3. 生徒がさまざまな経験を通して視野を広げられるように、地域の人や外部の団体と連携する。

【具体的方策】

1. 8/23に荷揚町複合公共施設コモンベースで開催される「新科学体験イベント実施事業」への参加、昨年度に実施した大分市内のこども園での「マイムのドキドキ科学発見 in 保育園」を大分市内で2カ所、リトル・ママおおいのBASEでの科学実験教室「さわたり先生のわくわくサイエンス！」との協力を計画している。不登校の生徒や保護者との関係性が深いソーシャルワーカーやスクールカウンセラーに対するマイムの説明、継続してSNS・ホームページの情報発信を行う。別府市産業連携協働プラットフォーム B-biz LINK と共同でパソコン組立ワークショップも計画する。
2. 生徒が安心して通い、自分のペースで学べる環境を整えるため、安定した人員体制を構築する予定である。今年度と同様に、マイムは大学生スタッフ1名とボランティア4名、創楽クラブは高専生スタッフ2名とボランティア2名を配置する計画である。また、興味や関心に応じた学びを支えるため専門的な講座も実施する予定である。
3. 地域イベントや外部教室への参加・共催（コモンベース、保育園）、大学・企業・専門家との連携講座の実施（別府大学、ソニー・太陽）、地域資源を活かした体験活動の導入（農園体験）、卒業生や他のフリースクールとの交流を通して、視野を広げられる機会とする。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の実施予定日時 (B) 当該事業の実施予定場所 (C) 従事者の予定人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 予定人数	事業費の 予算額 (単位: 千円)
①既存の学校教育にない不登校の生徒や発達障がいのある生徒等に対する科学的素養の育成事業	理科フリースクールマイム	(A) 月・火・木・金の10～16時 (B) 理科フリースクールマイム (C) 専任1人、アルバイト1名、ボランティア4人	(D) 中学生 (E) 10人	3,129
	マイム科学創楽クラブ	(A) 5・6・7・8・10・11・12月の土曜日の10～15時 (B) 理科フリースクールマイム (C) 専任1人、アルバイト2名、ボランティア2人	(D) 小学校5・6年生 (E) 5人	
②児童福祉法に基づく障害児通所支援事業	なし	・本事業年度は、実施予定なし	—	0
③前各号に掲げるもののほか、当法人の目的を達成するための必要な事業	なし	・本事業年度は、実施予定なし	—	0